

アメリカ政治思想 の潮流

自由の探求と国家の役割

右派と左派の対立構造と、
その歴史の変遷を読み解く

Reading Guide: 本資料は、アメリカ政治の文脈を物語として読むために構成されています。



アメリカ政治の対立は、「自由」という共通の土台の上にある



建国以来、アメリカは「個人の自由」を信奉してきました。対立しているのは自由そのものではなく、「どのように（国家が介入して／しないで）自由を守るか」という手段の違いです。

1930年代：大恐慌が「リベラル」の意味を180度転換させた

Old Liberalism (旧来のリベラル)

Caslon



国家は介入しない
= 自由放任
(Laissez-faire)



Modern Liberal (現代リベラル)

Caslon



国家が積極的に介入し、
自由と平等を実現する
= 大きな政府

Concept Spotlight

ニューディール政策 (New Deal Policy)

1930年代、F.ルーズベルト大統領による経済政策。政府が市場をコントロールする「大きな政府」への転換点であり、現代リベラリズムの起源。



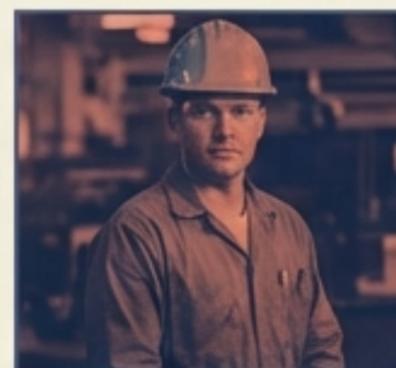
1960年代：リベラルの「行き過ぎ」が保守の反発を招いた



LBJ: Great Society

Caslon, Noto Sans JP

- ・ジョンソン政権「偉大な社会」計画
- ・公民権法（人種差別撤廃）
- ・医療・教育支援の拡大



White Workers (白人労働者層)

アフーマティブ・アクションを「逆差別」と批判



Traditionalists (伝統重視層)

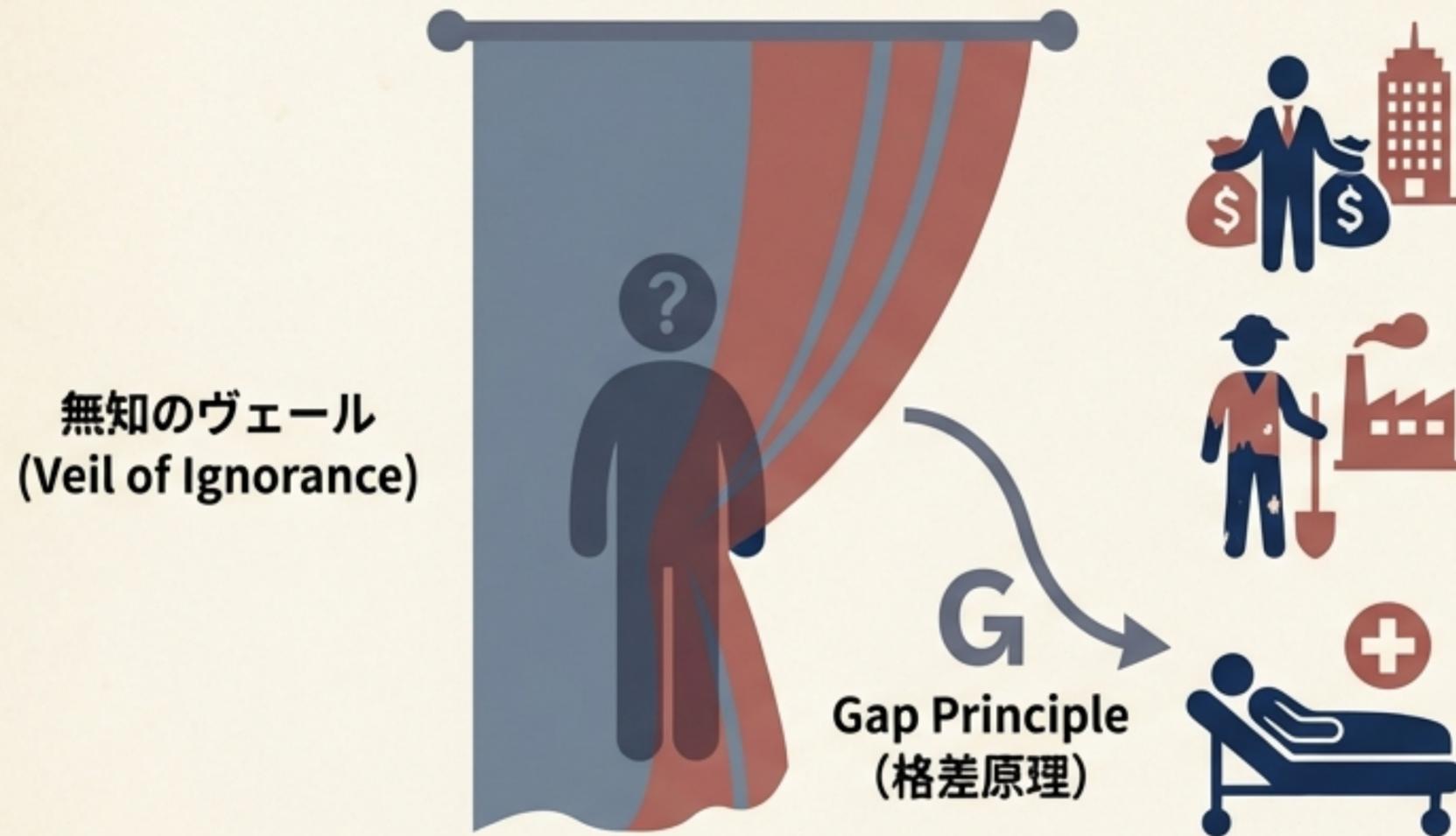
カウンターカルチャーを「社会秩序の破壊」と危惧

Concept Spotlight

アメリカのリベラル（左派）

国家が経済・教育に介入し、社会的平等を保障する立場。民主党の主流思想。

哲学的な正当化：ジョン・ロールズの『正義論』



Core Logic

1. Problem: 「自分が強者か弱者かわからない状態で社会ルールを決めるとしたら？」
2. Solution: 「人々は最悪の状況（弱者）になっても生きていける「格差原理（弱者への分配）」に合意するはずだ。」

Concept Spotlight

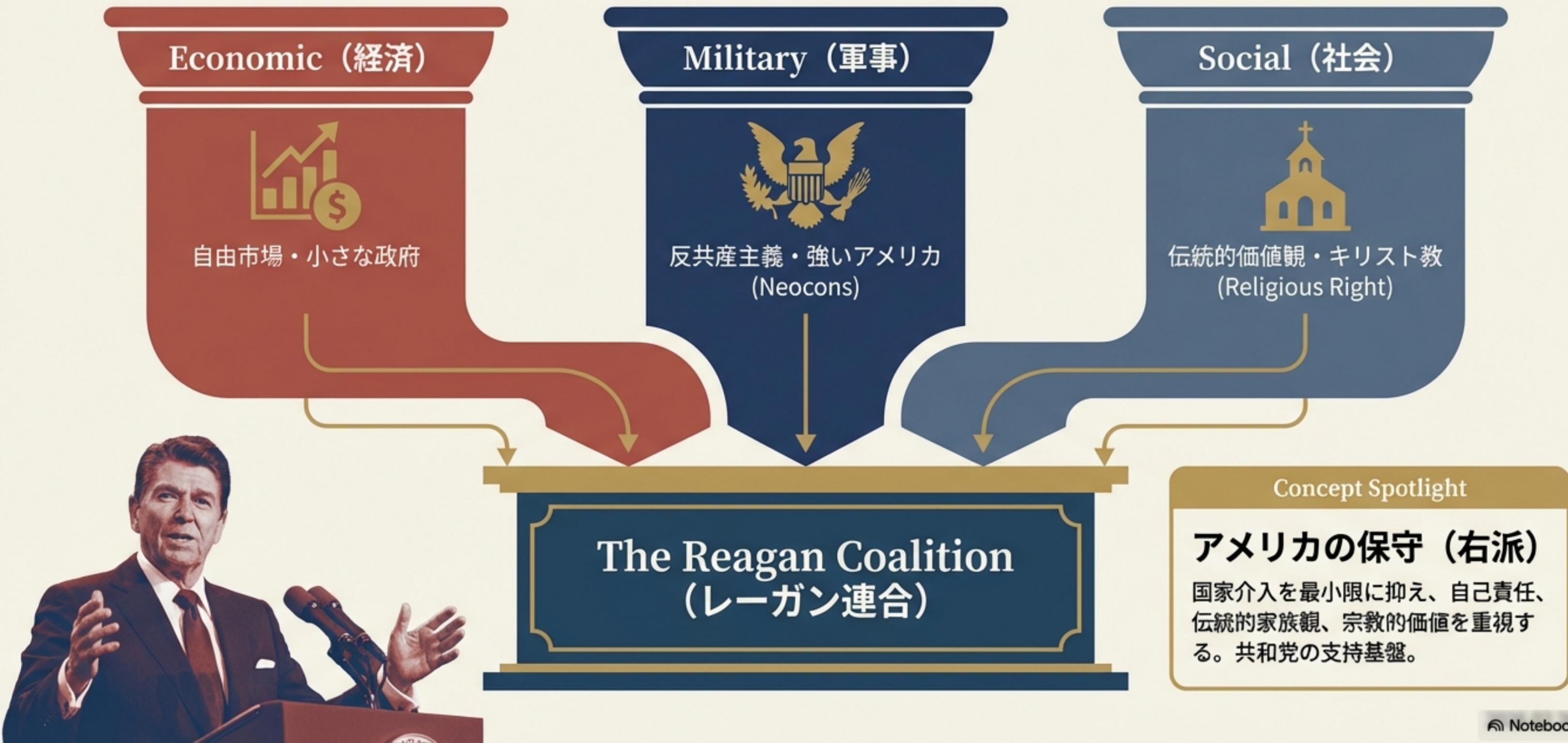
正義論 (Theory of Justice)

1971年発表。福祉国家や再分配を理論的に正当化した金字塔。

無知のヴェール (Veil of Ignorance)

自分の属性を知らない状態での思考実験。

1980年代：三つの勢力が結集し「保守連合」が形成された



一枚岩ではない「保守」の内部構造

Neocon (新保守主義)



元リベラルの転向組。
民主主義を軍事力で広める
「外交タカ派」。

Libertarian (リバタリアン)



個人の自由を絶対視。課
税や規制を否定。社会的
自由（同性婚など）は
リベラルに近い。

Religious Right (宗教右派)

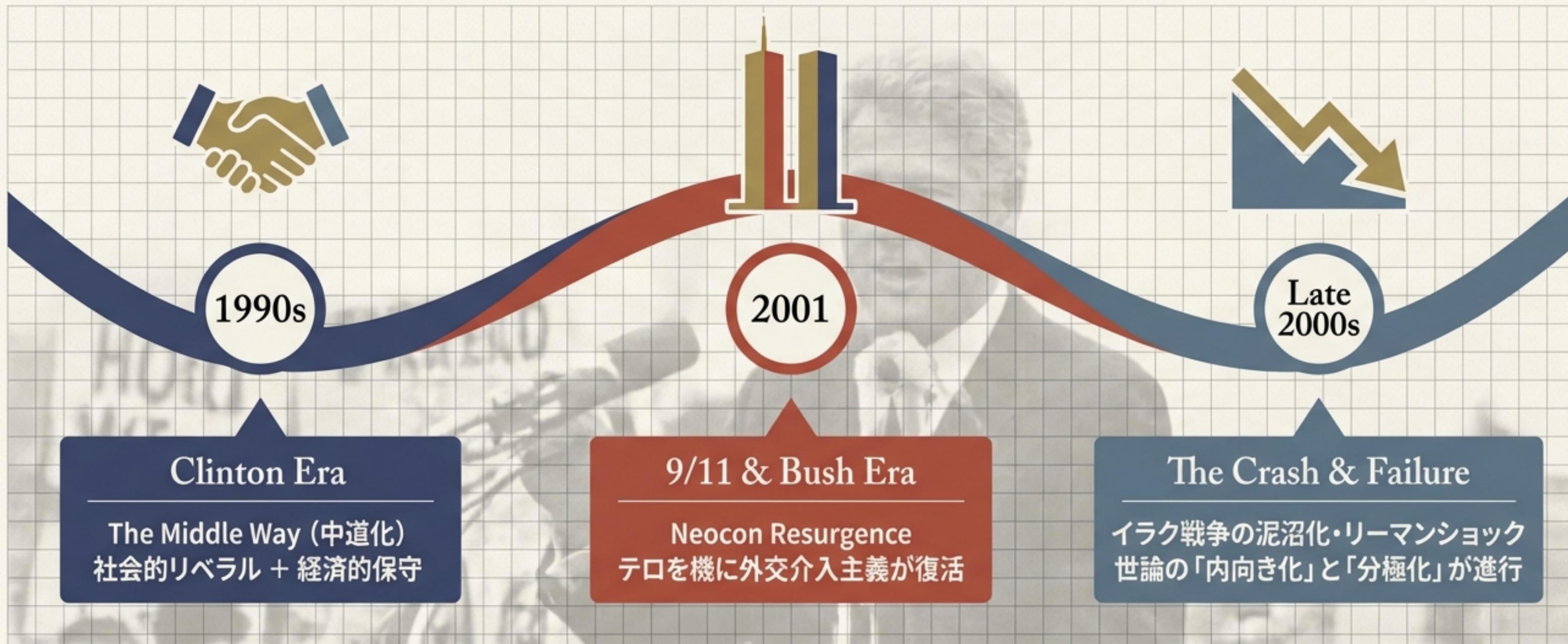


キリスト教福音派。中絶
や同性婚に反対し、共和
党の集票マシーンとな
る。

Economic Context: Neoliberalism (新自由主義) - 市場原理の徹底

冷戦終結から分極化へ：揺れ動くアメリカの針路

From the End of the Cold War to Polarization: America's Fluctuating Course



2016年以降：トランプ現象が既存の「保守」を破壊した



	Global Role	Economy
Global Role	世界の警察 (Neocon / Intervention)	自由貿易 (Free Trade)
Trumpism	孤立主義 (America First / Isolationism)	保護貿易 (Protectionism)

Concept Spotlight

トランプ現象（ポピュリズム）

エリートへの反発から生まれた排外主義的潮流。自由貿易や国際介入を否定し、白人労働者層の不満を吸収した。

現在：互いに歩み寄れない「二つの正義」の衝突

The Left (Rawlsian Justice)

「平等の正義」



多様性 (Diversity)



再分配
(Redistribution)



アイデンティティ
(Identity)

The Right (Trumpian Nationalism)

「排他的な自国第一主義」



国境管理 (Borders)



保護主義
(Protectionism)



アンチ・グローバリズム
(Anti-Globalism)

かつての「自由」という共通基盤が見えなくなるほど、分断は深まっている。

重要用語・概念まとめ

Ideology アイデオロギー

- **アメリカのリベラル**
国家介入による平等保障、大きな政府。
- **アメリカの保守**
小さな政府と伝統的価値観の重視。
- **ネオコン**
武力を用いた民主主義と普遍的価値の輸出。
- **リバタリアン**
個人の自由を絶対視、国家介入の最小化。
- **宗教右派**
キリスト教的価値観を政治に反映させる勢力。

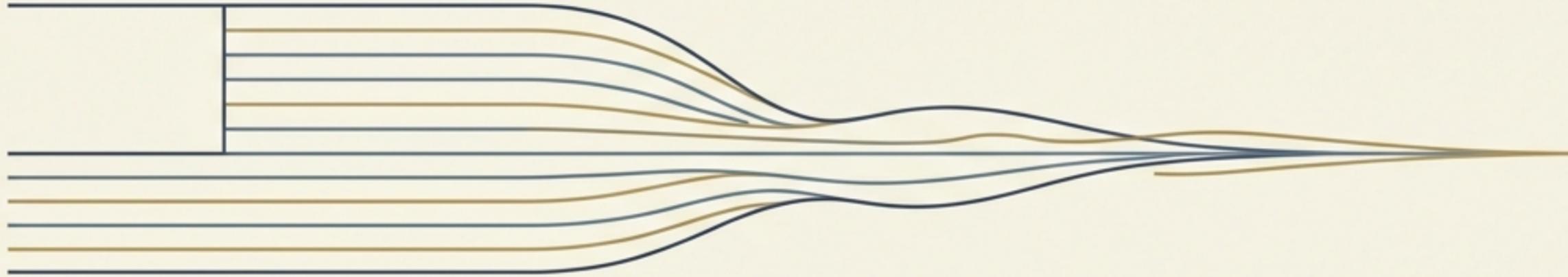
Policy & History 政策と歴史

- **ニューディール政策**
現代リベラルの原点、政府による市場介入と社会保障の拡充。
- **ネオリベラリズム**
市場原理主義、規制緩和・民営化・減税の推進。
- **トランプ現象**
排外主義的ポピュリズム、エリートへの反発と「アメリカ・ファースト」。

Philosophy 哲学

- **正義論**
ジョン・ロールズによる、福祉国家と再分配の理論的支柱。
- **無知のヴェール**
公平な社会ルールを決めるための思考実験、最も不遇な人の利益を最大化。

自由の定義は、今も書き換えられ続けている



アメリカ政治の歴史は、時代ごとの危機に対して「国家がどう自由を守るか」を問い直すプロセスでした。ニューディールからトランプ現象まで、その振り子は大きく揺れ続けています。次の時代の「自由」がどのような形になるのか、その探求は終わっていません。